



天ダムNEWS

国土交通省 天竜川ダム統合管理事務所

[News Release](#)

<http://www.cbr.mlit.go.jp/tendamu/>

‘14/7/7

7 / 25 (金)「第1回 小渋ダム土砂バイパス トンネルモニタリング委員会」開催

現在小渋ダムでは「小渋ダム土砂バイパストンネル」を平成28年度からの試験運用開始をめざし鋭意施工中です。そこで施設の運用方法等を検討するため表題の委員会を開催します。

委員会の傍聴を希望する方は下記により申し込みをお願いします。

開催日時：7月25日(金) 12時45分 受付開始
13時00分 ~ 15時00分

開催場所：松川町役場 (2階) 協議会室
(長野県下伊那郡松川町元大島3823)

※傍聴を希望の方はfax又はメールで7月18日までに事前申し込みをお願いします。席に限りがありますのでなるべくお早めをお願いします。(30席程度)

fax 0265-88-3697

メール tendamu@cbr.mlit.go.jp

本記事に関するお問い合わせは、『副所長：片桐、管理課長：竹内』までお願いします。

国土交通省 天竜川ダム統合管理事務所

〒399-3801 長野県上伊那郡中川村大草 6884-19

Tel(0265)88-3729 Fax(0265)88-3872

○資料 別紙のとおり

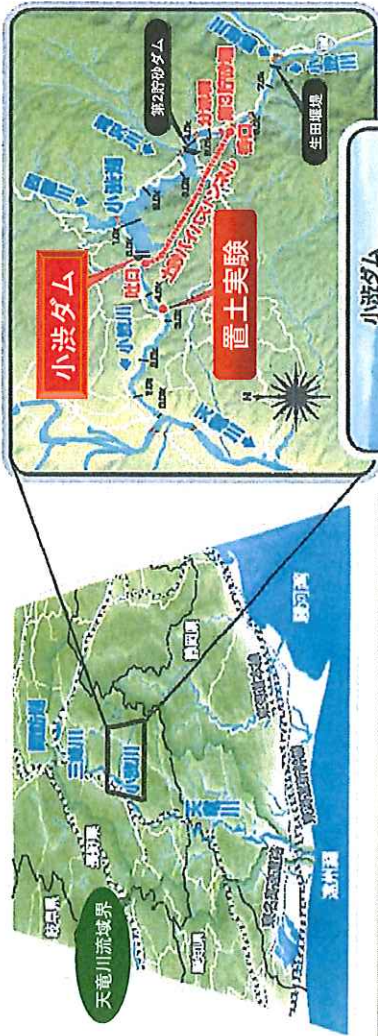
○同時配布 伊那市記者クラブ、飯田市記者クラブ、駒ヶ根市記者クラブ

直轄堰堤改良事業

小渋ダム土砂バイパストンネル事業概要

小渋ダムは、洪水調節、かんがい、発電を目的とする多目的ダムとして昭和44年に建設された高さ105mのアーチ式コンクリートダムです。

ダムに貯まった土砂の掘削の他に、ダム湖に流入する土砂を減らし、ダム下流河川へ土砂を流すなど、上下流の土砂のバランスを考慮した対策を実施しています。



小渋ダム諸元	
完成	昭和44年
河川名	天竜川水系小渋川
型式	アーチ式 コンクリートダム
流域面積	288km ²
総貯水容量	58,000千m ³
利水容量	29,100千m ³
目的	洪水調節 1,500m ³ /s ⇒ 500m ³ /s
農薬用水	1.81m ³ /s (松川町、豊丘村、 喬木村、飯田市)
発電	最大10,500kW (長野県企業局)



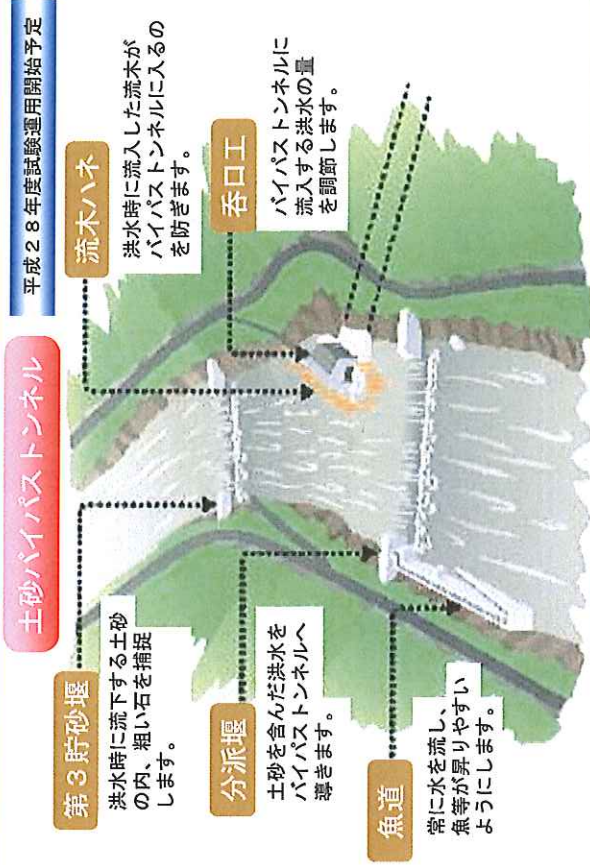
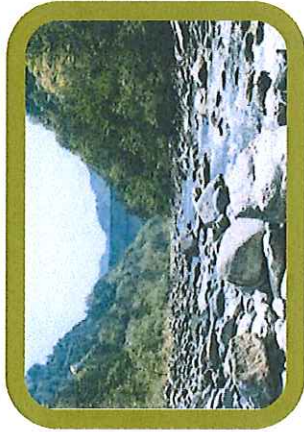
小渋ダム

☆課題 1

S57・S58洪水に代表される多量の土砂流入により、貯水池の土砂堆積が進行しています。貯砂ダムに溜まった土砂を掘削してきていますが、このままでは、ダム機能が維持できない恐れがあります。

☆課題 2

土砂がダムに止められてダム下流に流れなくなってきたため、川底が下がり、大きな玉石ばかりの見た目が単調な川へと様子が変わってきています。



土砂バイパストンネル

第3貯砂堰

洪水時に流下する土砂の内、粗い石を捕捉します。

分派堰

土砂を含んだ洪水をバイパストンネルへ導きます。

魚道

常に水を流し、魚等が昇りやすいようにします。

流木ハネ

洪水時に流入した流木がバイパストンネルに入るのを防ぎます。

呑口工

バイパストンネルに流入する洪水の量を調節します。

呑口

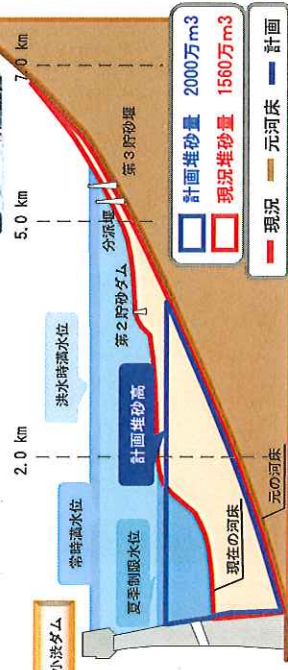
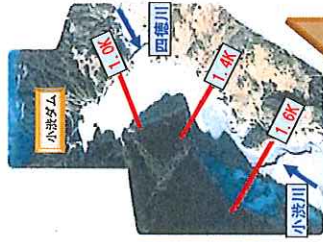
土砂バイパストンネルの目的

洪水時に発生する土砂の一部を洪水に乗せ、ダム湖を経由せず、ダム下流に流下（バイパス）させることで、以下の目的を達成します。

- ①ダム貯水池の堆砂進行を抑制し、ダムの有効容量を確保する。
- ②ダム下流河床の粒度分布を改善し、河川環境の健全化を図る。

土砂バイパストンネルの機能

洪水時に発生する土砂の一部を洪水調節放流に乗せ、ダム湖を経由せずダム下流へ放流します。



計画堆砂量 2000万m³
現況堆砂量 1560万m³

— 現況 — 元河床 — 計画